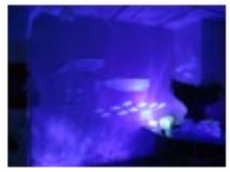


# わか草



第75号 令和7年7月1日  
発行 東京都立東部療育センター  
広報委員会  
東京都江東区新砂3-3-25

## 東部フェスティバル

今年は大阪・関西万博がとも盛り上がっています。皆さんと一緒に万博の盛り上がりを感じたいと思い、今年の東部フェスティバルは東部万博を開催することになりました。

各病棟を各国のパビリオンとして展示やゲームなどを行い、それぞれの国の特色を体験して楽しむことをテーマに色々な国のパビリオン体験をしました。職員の色々な工夫やアイデアでも楽しいパビリオンができ上がりました。

放送で東部フェスティバル開始のアナウンスが流れると皆さんの期待感や緊張が伝わる表情を見ることができました。

2階にはオーストラリア館、台湾館、

オーストラリア館では民族楽器に触れたり演奏を聴いたり、アポリジナルアート鑑賞や空飛ぶ車体験をしました。オーストラリアの壮大な大自然を体験することができました。

台湾館では人気キャラクターの顔パネルで記念撮影や古い、ランタン飛ばし体験をしました。部屋中に吊るされた提灯を見るとまるで台湾にいる様な雰囲気に包まれました。

日本館ではハビリグループの活動写真を展示。パーチャル日本館、いのちみなぎる藻のカーテン、動くデジタルアートなど映像やスヌーズレン体験をしました。



台湾館



オーストラリア館

3階はスペイン館です。スペイン館ではスペインのクイズや展示、サグラダファミリアについての映像やオブジェを見たりトマト祭りを体験できるボール投げゲームを行いました。



本物のトマト祭りの映像を見ながらのボール投げゲームは笑顔や悔しい表情をたくさん見ることができました。

4階はノルウェー館です。ノルウェー館では陸海空の生き物たちを見つけたたりオーロラを見ながらのんびりした時間を過ごすことができました。他のパビリオンとは違い暗くのんびりした空間でしたがノルウェーの大自然を充分に感じられリラックスできるひと時を体験しました。



今回、各パビリオンではそれぞれの国の特徴や文化を知ることができ、なかなか行く事の出来ない場所にも旅行へ行った気分になるそんな2日間になったと思います。

他部署の職員やボランティアの皆さんにも手伝っていただき、無事に終わることができました。ご協力ありがとうございました。

みなさん大阪・関西万博に行った気分になれたでしょうか？



(3階南病棟 中川)

## 重症心身障害児者と薬

薬剤検査科長

船津 久美

### もっと薬剤師に相談しよう

重症心身障害児者にとって、薬は生活を支えるとても大切なものです。多くの方がいるような種類の薬をたくさん服用しているケースが殆どです。1回分の薬の量も多く、服用するのも胃ろうや経鼻チューブで注入するのも手間がかかります。

そのような利用者さまに関わっているセンターの薬剤師は3人です。長期入所・医療入院・外来・通所・短期入所など様々な形で利用者さまの薬に関する対応をしています。

### 短期入所時の薬の確認

最近是在宅介護の方が多くなり短期入所を希望する方が増えています。在宅介護の家庭では、薬の処方元が他施設であることも多く、薬についての情報は「お薬手帳」と「実際の薬」が頼りになります。

短期入所の際、薬剤師は次のようなことを保護者と確認しています。

- ・今飲んでる薬は何か？
- ・薬の量は変わっていないか？

追加された薬はないか？  
調整中の薬はあるか？  
必要に応じて、調剤した薬局に確認の連絡をすることもあります。これは、在宅での薬の治療を安全に続けるために大切な作業です。このように、持参された薬を確認していただくと、しばしば「もっと調剤してもらっている薬剤師を頼ったら？」と考えてしまいます。例えば、「簡易懸濁法を使ったら、もっと楽に注入できそう」「短期入所用の薬をまとめてもらえばいいの」などです。

### もっと薬剤師を活用してみよう

活用してみよう

調剤薬局では、かかりつけ薬剤師や在宅薬剤管理という制度があり、薬について困ったときは、かかりつけの薬剤師さんや訪問してくる薬剤師さんの力を借りることができます。

### 粉薬を錠剤に変えて

「簡易懸濁法」を使う

簡易懸濁法は、錠剤を55℃のお湯(ポットのお湯・水

水道 2対1)で溶かし、液体にして注入する方法です。

すべての錠剤に使えるわけではなく、おおよそ8割の薬がこの方法で対応できます。錠剤で処方してもらえば、それまで粉薬を何包も注入していたのに、1包にまとめた錠剤ですむことがあります。1回に服用する薬の袋の数が減り、薬全体の嵩(かさ)も減ります。お薬の管理が楽になる可能性があるので挑戦してみたいかがでしょうか。

粉薬を錠剤に変えられるかどうかは、薬剤師に相談して処方している医師に提案してもらいましょう。当センター1階の薬局窓口でも相談できます。

### 短期入所時の持参する薬の1回服用分をまとめる

短期入所の際には、薬を1回分ずつにまとめて持参していただいています。この作業も、かかりつけ薬剤師さんや訪問薬剤師さんにお手伝いできる場合があります。気軽に相談してみてください。

年々、猛暑の夏が激しさを増していますが、介護される側だけでなく介護する側もいるような制度を利用してリフレッシュしていきましょう。

## 日中活動のご紹介

### 2階西病棟

今回は沢山のカラーボールを使った活動風景をご紹介します。ムーブメント活動のテーマは「料理を作るうー！」です。まずは、何を作るかみんなで決めます。卵に見立てた黄色のボールと、葱に見立てた緑のボールを近くに置いて、利用者様も食材のひとつになっちゃいました。いざ料理開始。ボールプールの上をゆっくりと左右に揺れて弱火、大きく縦に揺れて強火を表現。2西オリジナル炒飯の完成。いただきます！みんなで大盛り上がりでした。



(2階西病棟 村上)

### 2階南病棟

今年度はコミュニケーションを基盤に4グループに分かれ、各自でグループ名を決め活動しています。今回はふわふわグループをご紹介します！利用者さま同士で綱引きを行っています。負けた利用者さまは当日の看護リダーに「昨日の晩御飯はなに？」と質問する指令があります。意外な献立が聞けて、勝っても負けても嬉しい結果となっています！ムーブメント用具を使用しコミュニケーションを大切に活動しています。今後の活動もお楽しみに！



(2階南病棟 小坂橋)

### 栄養科より

今年は「大阪万博」にちなんで、大阪名物の「串カツ」と「お好み焼き」をご用意しました。



28日昼食

ご飯、串カツ、カレー、スパゲッティ、ごま塩、メロン



27日昼食

お好み焼き、鶏天、トマトサラダ、フルーツポンチ

### 祝

#### かもめ分教室入学式

令和7年4月9日に病棟内プレイルームにおいて、かもめ分教室中学部入学式が開催されました。ご家族や院長、副院長をはじめ、病棟のスタッフの皆様、墨東特別支援学校校長、副校長、かもめ分教室の教員に囲まれ、少し緊張しながら、中学生活の一步を踏み出しました。いろいろな経験を積み重ね、楽しく充実した中学校生活を送って欲しいと願っています。(かもめ分教室)



様の前でご家族と記念の1枚ご入学おめでとうございます

### 3階西病棟

3階西病棟は、強みを活かした4グループで活動しています。

今回は、感覚グループを紹介し、テーマは「音と光を感じよう」色々な音楽に合わせて天井や壁に様々な光を映し出し、利用者様の視覚と聴覚を刺激して楽しんでいただきました。動く光に対して注視・追視する方、音楽に反応する方もいたり反応は様々でしたが、皆さん表情良く楽しんでいられた様子が見られました！

(3階西病棟 木原)



### 3階南病棟

3階南病棟では東部フェスティバルにて『ノルウェー館』を担当しました。そこで、みんなで会場装飾の準備や、ノルウェーがどこにあるのか白地図を使ったゲーム『ノルウェーに行こう！』にチャレンジ。思い思いに選んだボールを白地図の上で転がし、到達点を競いました。見事ノルウェーや周辺の国や海に到着したり白熱のゲームでした。また、今年度は園芸・美術・音楽・スノーブレン・新聞などの部活動も週末を利用して行っています。

(3階南病棟 岩崎)



### 通所・乳幼児通所

通所では「春を感じよう！」をテーマに、水再生センターへ春を探しに出掛けました。春探しでは、桜以外にもツツジやポピー、藤、牡丹、バラなど様々な花が咲いていました。散歩中は、春の風を浴びながら心地良い日差しを感じ、気持ちの良い気候の中、散歩を楽しみました。風に吹かれて舞う花びらや葉っぱの中、鳥のさえずりや池・川のせせらぎも体感しつつ、春の散歩を楽しみました。

(通所 三上)



写真につきましては、全て掲載の許可をいただいております。

### チーム紹介

ICT

当センターでは、多職種がチームを組んで行っている取り組みがあります。今回は「ICT（インフェクシオンコントロールチーム）」をご紹介します。

ICT（感染対策チーム）は、院内感染を防ぐために医師、看護師、薬剤師、検査技師などが連携し活動している多職種のチームです。それぞれの専門性を活かし、感染症から利用者さまやご家族、職員を守っています。重症心身障害児者の方々は抵抗力が弱いいため、感染症に対する備えはとても重要です。ICTは、手指衛生の励行や个人防护具（PPE）の使い方、環境整備、消毒方法の指導を通じて、利用者さまが安心して過ごせるように、安全な療育・療養環境の維持に努めています。

また、定期的に現場をラウンドして実際の状況を確認すること、職員の相談に応じることで、予防接種やマ

ニユアルの整備なども大切な役割のひとつです。さらに、感染症発生時には迅速な情報共有と対応を行い、感染拡大防止に取り組みをしています。ICTの取り組みは目立たないものかもしれませんが、日々の積み重ねを行うことで、利用者さまや職員の大きな安心につながってまいります。感染対策は日々進化しており、ICTも常に新しい知識を学びながら活動を続けていきます。利用者さまやご家族が安心して過ごせる環境を守るために、そして地域の皆さまにも信頼される病院であるために、ICTはこれからも「縁の下での力持ち」として、チーム一丸となって取り組んでまいります。

(ICT 感染管理 認定看護師 中川)



多職種でのラウンドの様子

### 看護の日

イベント

令和7年5月8日に「看護の日」のイベントを南砂町ショッピングセンターSUNAM Oで開催いたしました。6年ぶりの開催だったため皆様に興味をもって来ていただけるか心配でしたが31名の方が参加してくださいました。

「看護の日」は看護をする心や助け合う心を知ってもらうため、ナイチンゲールの誕生日である5月12日に設けられ、その前後に看護師が地域に向けて看護の魅力を伝えるためのイベントを開催しています。

今年度は看護師による血圧測定や酸素飽和度、体脂肪測定、皮膚の保湿チェック、管理栄養士による推定必要エネルギー量の計算や栄養相談、認定看護師による皮膚ケアの相談や嚥下についての相談コ



(3階西病棟 木原)

ナーなどを設置しました。

どのコーナーも参加者の皆様は質問やご相談をされ、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

参加していただいた方からは「たくさん相談できてよかったです」「毎年来ていたのでまた再開したのでこれからも来ます。」と声をかけていただきました。嬉しく思いました。また参加した皆様がこのイベントに満足したと、看護や医療に触れ合う機会にしていきたいと思っております。

### 看護相談室開設のお知らせ

今年度から認定看護師による看護相談室を開設しました。認定看護師とは専門の分野を勉強し、日本看護協会による認定を受けた看護師です。当センターには「感染」「皮膚ケア」「呼吸」「摂食」の4分野で5名の認定看護師が在籍しています。在宅のケアで悩んでいることや不安なことに対するご相談を受け付けていますので外来受診の際にでもお気軽にご利用ください。外来にパンフレットが設置してありますのでご興味のある方はご自由にお持ちください。(慢性呼吸器疾患看護認定看護師 中野)



呼吸分野ではアンビューバッグの練習などが可能です。

### 東部あれこれ

春から初夏のセンターの動きです。

#### 【4月】

今年も新入職員などを迎えて新年度が始まりました。

かもめ分教室では中学部に1名をお迎えし、9日に病棟で入学式が行われました。現在、小学部2名、中学部3名、高等部1名、合計で6名の方が在籍しています。

#### 【5月】

5月からバスによる外出企画行事が始まりました。5月は夢の島の熱帯植物館コースとガスの料学館・ららぽーとコースに分かれ、現地でお待ちのご家族とも一緒に楽しい時間を過ごされました。

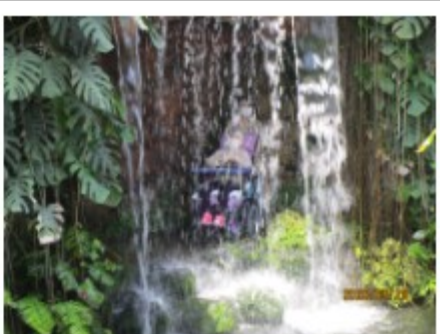


### 【編集後記】

7月号をお届けいたします。今年の梅雨は、例年に比べて雨が少なく、暑さが一段と厳しく感じられる日々が続いています。体調管理の難しい時季かと思いますが、皆様におかれましては、少しでも穏やかな夏を迎えられますよう心より願っております。

#### 【6月】

今年度は平年より高気圧の影響により6月の真夏日の地点数の合計が2010年以降で最多を記録し、また6月の日本の平均気温が平年より2.34℃高く歴代1位の高温だったとのこと。これから更に暑さが厳しくなりますので、こまめな水分補給など熱中症予防を積極的に行ってください。16日から27日まで武蔵野大学の看護実習生を受け入れました。(事務長 大野)



←これまでのわか草をご覧になりたい方はこちらからどうぞ

